

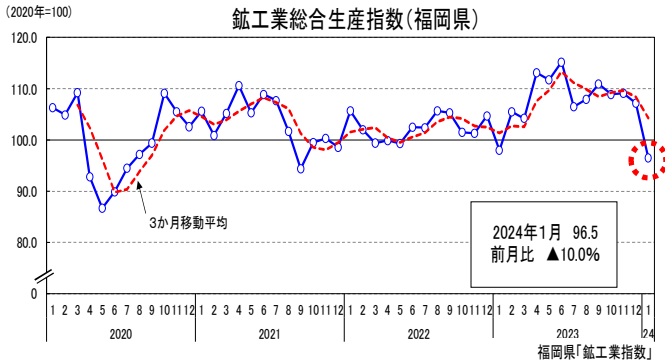
# ふくおかの経済

令和6年3月号

## 生産

このところ弱含んでいる。

1月の生産指数は、輸送機械工業、金属製品工業などが低下したため、2か月連続で前月を下回りました。

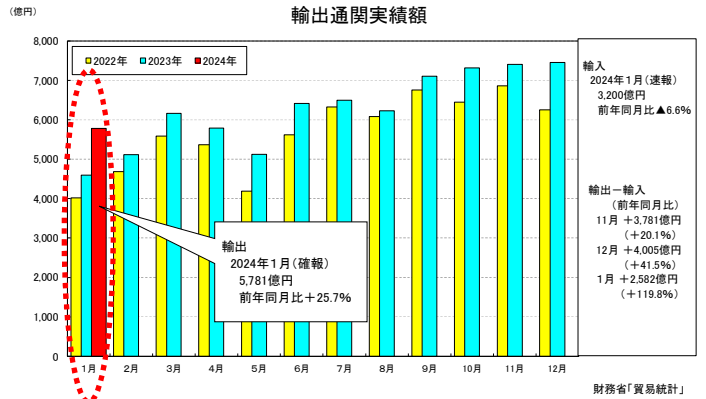


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出額は、前年同月を上回っている。  
輸入額は、前年同月を下回っている。

1月の輸出額は、前年同月比+25.7%と前年同月を上回りましたが、輸入額は同▲6.6%と前年同月を下回りました。

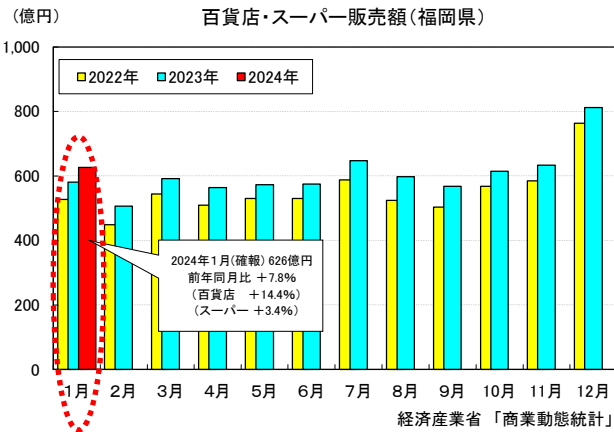


財務省「貿易統計」

## 消費

緩やかに回復している。

1月の百貨店・スーパー販売額は、28か月連続で前年同月を上回りました。

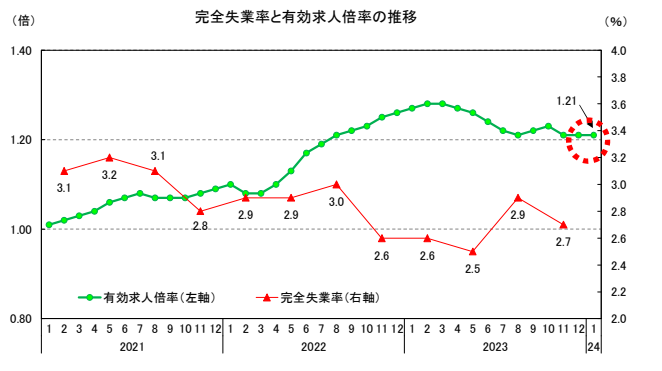


経済産業省「商業動態統計」

## 雇用

雇用情勢は、改善している。

1月の有効求人倍率は1.21倍で、前月と同倍となりました。

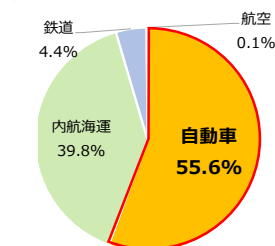


「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック「物流の2024年問題」～社会全体で変革を～

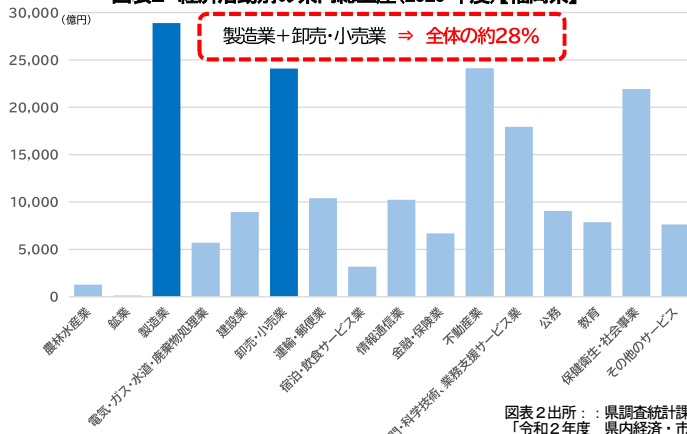
- 2024年4月から、トラックドライバー等の時間外労働の上限規制が撤廃されます。国内における物流の輸送手段は、半数以上が自動車(図表1)、今後、物流の適正化、生産性向上を講じなければ、2030年には輸送能力が大幅に不足することが見込まれています。
- 本県でも大きな影響があると考えられ、例えば、県内の経済生産全体の約28%を占めている「製造業」と「卸売・小売業」では、生産活動に必要な部品・材料や完成品の輸送が欠かせないため、輸送能力の低下は大きな懸念材料となります。(図表2)。
- これらの解消には、物流の効率化(図表3)などに加え、荷主や消費者もこれまでの行動を見直し、社会全体で負担を分散していくことが求められています。

図表1 モード別 国内貨物輸送量の割合(2022年度)(トンキロベース)



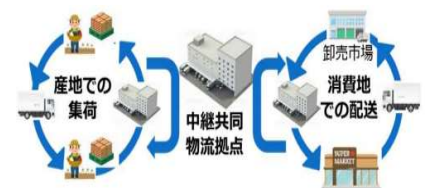
図表1出所: 国土省「自動車輸送統計」「鉄道輸送統計」「内航船舶輸送統計」「航空輸送統計」

図表2 経済活動別の県内総生産(2020年度)【福岡県】



図表2出所: 県調査統計課「令和2年度 県内経済・市町村経済計算報告書」

図表3 効率化に向けた取組(例:農産物等の流通網の強化)



図表3出所: 内閣官房「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」資料